

『環境月間』講演会

大阪大学環境安全研究管理センター

日時

平成28年6月7日（火） 13時～14時30分

場所

工学部共通講義棟 U3-211 教室

講師および講演題目

「ドーナツ型オリゴ糖を用いて有害物質を除去する」

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授

木田敏之

シクロデキストリン（CD）はデンプンに酵素を作用させて得られるドーナツ型のオリゴ糖であり、分子を取り込めるサブナノメートルサイズの空孔（穴）を持っている。この分子を取り込む性質（‘包接能’と呼ばれる）は、食品、化粧品、医薬品分野で広く利用されてきた。また、CDは水中の有害物質を除去する材料として環境分野でも注目されている。しかし、これまでのCDによる分子の包接のほとんどは水の中で行われており、非極性溶媒やオイルの中での包接は困難と考えられ、実現されていなかった。我々は最近、オイル中の有害物質を効果的に包接除去できるCD誘導体の開発に成功した。本講演では、我々が見出した、非極性溶媒中でのCD誘導体の包接能について説明した後、CD誘導体を用いての汚染オイル中からのポリ塩化ビフェニル（PCB）の除去について述べる。

大阪大学内外の方々、多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます

問い合わせ先：大阪大学環境安全研究管理センター

Tel：06-6879-8974 E-mail：hozen@epc.osaka-u.ac.jp